

なぜ子ども同士仲良しにならない？

大人は、子どもに「お友達と仲良くするのよ！」というのが口癖です。でもなぜ子ども同士いじめあったり、仲違いをするのでしょうか？

1. 親と教師の関係

子育てをスポーツクラブに例えると、両親は監督。教師はコーチ、友達の父母は顧問、子どもは選手です。良い選手を育てられる監督は、選手が負けたり、ミスをした場合決してコーチのせいにはしません。増して、選手を責めたりもしません。

「冷静」に敗因を分析し、これからどうすべきか、何が欠け、何が大切かを考えます。顧問にも相談するでしょう。

ところがそのチームの構成員の誰かがミスを犯すと監督が「感情的」になり烈火のごとく怒るようでは、良い選手を育てることはできません。

2. 父母同士の関係

内情は察するだけですが、表面的には笑顔で接していても陰では、お互いを誹謗中傷していないでしょうか？最悪なのは、その会話を子どもに聞こえる状況で行われていることです。子どもには、「仲良く」と言いながら親同士は「不仲」では、本末転倒です。

子どもは、「親の言う通りにはしないが、親のする通りにする」と言います。子どもが仲良く安心して遊べるには、子育てチームが、「仲良し」になること？